

7・8月のほけんだより



感染性胃腸炎流行のため延期となっていました。いよいよプールが始まります。安全に楽しくプール遊びをするために6月にお渡しした「プールのお知らせ」をご確認ください。またこれからの季節は夏風邪(ヘルパンギーナやプール熱)や皮膚のトラブル(虫刺され、とびひ)も多くなって来る時期です。熱中症にも十分に注意して、暑い季節を元気に過ごしましょう。

保健師 川城 茜

6月、感染性胃腸炎が流行しました。

0, 1, 2歳児クラスを中心に感染性胃腸炎が流行し、合計で30名弱のお子さんが感染してしまいました。クラス閉鎖や各種行事の延期にご協力いただきありがとうございました。

感染性胃腸炎は「嘔吐下痢症」、「お腹の風邪」とも言われ、その総称を感染性胃腸炎といいます。今回は保健所の調査で、発症したお子さんの便からノロウイルスが検出されました。

原因: ノロウイルスは食中毒の一種で、カキなどの二枚貝にウイルスが存在し、生や加熱が不十分だと感染し発症、さらにヒトからヒトへと感染していきます。

感染力: たった10個のウイルスで発症します。インフルエンザは発症するのに100万個のウイルスが必要なため、それと比較しても感染力が非常に強い事がわかります。

潜伏期間: 24~48時間で発症します。

症状: 嘔吐、下痢、軽度の発熱



7月4日(木)プール開きです!!

プールの日は、プールカードを記入し、担任へ提出してください。その時の体調等によっては、安全確保のため、園の判断でプールを控えていただく場合もありますのでご理解ください。



7月3日(水)は内科健診です。

胃腸炎で延期となっていた内科健診を7月3日(水)に行います。本年度より当日欠席された場合は、後日、指定した日に保護者の方に同伴して頂き、保健師とともに聖光会病院で健診を受けていただく事になりました。当日はできるだけ欠席しないようお願いいたします。また、当日体調不良の場合は、健診のみを受けていただける場合もありますのでご相談ください。(感染症の場合は対応できません)



日射病 熱射病に 注意

外で強い日ざしにさらされて起こるのが日射病、蒸し暑い所に長時間いて起こるのが熱射病。総称して熱中症といいます。

予防のポイント

炎天下であそびはない
日ざしが強いのは、午前10時ごろ~午後2時ごろ。この時間帯の外あそびは30分ほどで切り上げて。

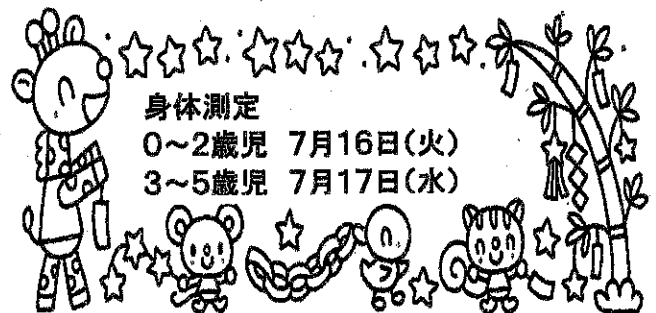
ベビーカーは短時間で
ベビーカーは、アスファルトの照り返しで熱がこもります。長時間の移動は避けましょう。

外と家との温度差に注意
涼しい室内から急に気温の高い外に出ると、体力が奪われて危険です。

子どもを一人にしない
子どもを車や部屋に一人で残さないで。クーラーをつけていても危険です。

つばの広い帽子をかぶる
頭だけでなく、後頭部や首も、日光から守りましょう。

こまめな水分補給
少量の水分を30分を目安に、こまめに飲ませます。



身体測定

0~2歳児 7月16日(火)

3~5歳児 7月17日(水)

その症状

水ぼうそうかも

- 37~38℃くらいの発熱
- 顔、体幹、頭部にも赤い発しんがある
- かゆみの強い水ぼうそうが次々にできる



発しんの出方には個人差があり、特にアトピー性皮膚炎があれば、ひどくなる場合もあります。発しんが見られたら、医師の診断を受け、許可を得てから登園してください。